

どうしたら与論島が活性化するか

理学部地球環境科学科 高口 理 学籍番号：2212540159

僕が与論島に行き、実際に見聞きしたことを通して活性化するのに必要だと感じたことは、“与論島の特徴をもっと出す”ということだった。訪れる前の与論島についての自分の中でのイメージは「海や砂浜がきれい」ということだけだったけれども、今回実際にいろいろなところをまわってみて、自分の想像した以上に歴史や文化、や自然物（特に鍾乳洞）関係のたくさんの興味深いところがあったのでとても驚いた。また島内は街灯が少なく、夜間に月明かりを感じたり鮮明で綺麗な星空を見ることができ、とても新鮮だった。僕としては、与論島は海や砂浜以外にも十分に魅力的なものを持っている場所だと思う。

ただ、ぼくが訪れてからしか気づけなかったように、それらの魅力が一般の人々に伝わっていないと思う。それを一番早く解決する方法はもちろん広告だと思うが、個人的な提案としては、島を代表する「キャラクター」を作ってみるというものが思い浮かんだ。キャラクター関連の商品をつくるなどして観光客の方々に買ってもらうことで、そのキャラクターの知名度を口コミ等でひろげてもらい、そのキャラクターをきっかけに与論島がどんなところなのかに興味を持ってもらうことで、少しでも島の魅力を知ってもらえればと思ったからである。さらに個人的な意見を含めると、キャラクターは野外学習中に紹介のあった石垣の伏龍をモチーフにした愛嬌のあるものにするのはどうか（ただあの龍が神聖なものだと聞いたので、もしかしたらそのように扱うのはよくないかもしれないのでその場合は申し訳ございません）。またそうすることで一般の人の中には「何の龍なのか」が気になり、そこから島の歴史や文化に興味を持つ人もいると思う。繰り返すが龍をきっかけにすることで、より一般の人に与論島の文化や歴史を知ってもらえる機会が増えると思う。

またもう一つ僕が島に来て思ったのが、確かに与論島にはたくさんの魅力的なところがあるが、「与論ならでは」の商品などがもっとあってもいいのでは、ということだった。いろいろなお土産屋に行ったときに行った時に島に関連したお菓子や商品があまりないようなきがした。お菓子商品の面で言うと、先ほど述べたようにキャラクター関連のお菓子をつくったり、普通のお菓子でも味を南国風のものにして名前にヨロンをつけたり（例えばヨロンサブレのように）してもいいのではないかと思った。その地名産の関連した商品を出すのはもちろんありだが、そのような形で「与論ならでは」を作るのもありだと思う。また与論島ではもずくが最近によく採れると聞いたのでもずくを使ったお菓子（もずくせんべいのような）を作ってみても面白いのではないかと思う。また与論十五夜祭に見られるように大和文化と琉球の文化の融合があるので、それに関連したものをつくってもよいと思う。

またギリシャ風の建造物を増やすことに関しては、僕は「与論ならでは」の観点からするとあまり増やしすぎるのはよくないと思う。僕は与論島は島独特のいい雰囲気

を持っていると感じた。確かに海もきれいだしギリシャ風の建物を建てればリゾート感が出るかもしれないが、多すぎると本来の与論らしさがなくなってしまうと思う。もちろんあること自体には全く反対はしていしあっていいと思うが、多すぎてしまうのはよくないと思う。

最後に、与論島の一番大切な特徴として「人の温かさ」があると思った。これは僕と一緒に与論島に行った学生の方と一緒に鹿児島のフェリー乗り場から鹿児島大学までタクシーに乗った時に、そのタクシーの運転手の方が僕らと与論島についての話をしていて聞いてあらためて感じたことだった。その方が言うには、「与論島は人が温かかったが、沖縄が返還される前に訪れた観光ブームの際には皆が金儲けに走ってしまっていた。しかし今は昔の良さが戻ってきている」というものだった。たしかに与論島の人たちには本土にはあまりない温かさがあると感じた。店に行ってもほとんどの店がすごくアートホームな雰囲気でもとても気分的に居心地がよかった。またどの場所に行ってもどの説明して下さる方にしてもやさしい温かい雰囲気があった。与論島の特徴としてまた失ってほしくないのは、島ならではの温かさだと思った。非常に抽象的になってしまったが、その点は活性化する中で失われないでほしいと思った。